



2021年2月12日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号：6094 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 C F O 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

営業外費用の計上及び特別損失の計上に関するお知らせ(開示事項の経過報告)

当社は、2021年9月期第1四半期連結会計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)において、下記の通り、持分法による投資損失、為替差損及びデリバティブ取引評価損の計上を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失の計上

当社の持分法適用会社である株式会社 IRIS の決算報告に基づき、2021年9月期第1四半期連結会計期間に、持分法による投資損失として連結で103百万円を営業外費用に計上いたしました。

なお、こちらの主な要因はシンガポール拠点撤退に伴う一過性の損失を計上したことによるものです。

2. 為替差損の計上

為替相場の変動により、2021年9月期第1四半期連結会計期間において、為替差損として連結で92百万円を営業外費用に計上いたしました。

3. デリバティブ取引評価損の計上(開示事項の経過報告)

当社が2020年11月16日に開示いたしました「特定子会社の異動(株式譲渡)及び特別利益計上のお知らせ」に関して、2021年9月期第1四半期連結会計期間において、デリバティブ取引評価損として連結で95百万円を特別損失に計上いたしました。

本件譲渡に係る譲渡価額については、2020年11月16日に開示した金額で確定しておりますが、当社が株式の譲渡先である株式会社 SBI 証券との間で締結したデリバティブ契約に基づき、株式譲渡契約日の翌日(2020年11月17日)から当第1四半期累計期間末日の株価変動に応じた損失額として、デリバティブ取引評価損を計上したのになります。

4. 業績に与える影響

上記の持分法による投資損失、為替差損及びデリバティブ取引評価損につきましては、本日公表しました「2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上